IRON WILL | 鉄の意志

平成 30 年 5 月 8 日
第二中学校　学習通信　#4
学力担当

人間は聞いたことの20%
見て聞いたことは40%
自分でやってみたことは75%を体得できる

これは、アメリカでの実験に基づいたデータです。学習は目で見て、聞いただけでは最大でも４０％しか頭に残らず、その後に、自力で問題を解いたり、自分で説明が書けたりすることで体得に近づくということなのです。確かに、黒板で見ただけのことは記憶が長続きしませんが、実際に自分で声に出して読んだり、何回も書いたりしたことは頭に残りやすいものです。

このことをふまえて、自分の授業中の姿を振り返る必要があります。みなさんの中には、授業に受け身で臨んでいる人はいませんか。ただ、聞いているだけの人はいませんか。それでは、授業内容を２０％程度しか自分のものにできていない可能性があります。

授業では、まず、先生の話をしっかりと聞くことが、全てのスタートです。全力で聞かねばなりません。しかし、それだけでは自分の力にするには不十分です。授業中に目、耳、口、手、脳をフルに動かすことが必要です。消極的な姿勢では、何も身に付きません。この機会に自分の積極性を振り返ってみましょう。また、授業中に一人でこれをやろうと思っても、難しさがあります。だから、学級としての力が必要となるのです。みんなで活気をつくると自分もその雰囲気に乗せられて伸びていくのです。授業は受け身では楽しくありません。本気でやるから楽しいのです。学級で協力して活気ある雰囲気をつくり出しましょう。

家庭学習はどうでしょうか。ただ教科書を見ているだけ、ただ手を動かしているだけの人はいませんか。それでは思うような結果がでるはずがありません。家でも、自力で今日習ったことができることを目指して、目、耳、口、手、脳をフルに動かして学習しましょう。そして、必ず自分で今日の成果を確かめる自己テストをしましょう。テストも自分でやってみることが大事であり、これができている人は伸びていくものです。

何事も自分でやってみないと体得しないのです